

こだわりの自家製発酵肥料で先駆的に茶の有機栽培に取組み、 地域における有機JAS認証ほ場の拡大を目指す

ぬるき 有限会社塗木製茶工場（鹿児島県南九州市）

「病害虫に負けない茶園づくり」をテーマに自家製発酵肥料(ぼかし肥料)を使用した有機農業に取り組む
有機農業に取り組む茶園の団地化を目指して他の農業者への有機農業の普及に取り組む

【農業者の組織する団体等の概要】

- ・ 構成員 農業者17名

【H27年度の取組】

- ・ 対象作物 茶
- ・ 対象活動 有機農業
- ・ 取組面積 46ha(うち有機JAS認証14ha)

地域の特徴と取組の背景



南九州市の木となっている茶の畑

- ・ 南九州市は全国有数の畑作地帯で、茶、かんしょ等の作物を栽培しており、特に日本茶(緑茶)の供給基地として有名である
- ・ 当法人は、平成10年から地域内でいち早く有機農業に取り組む、「病害虫に負けない茶園づくり」をテーマに栽培管理を行う
- ・ また、土づくりのために発酵肥料(ぼかし肥料)を独自の配合で製造して全茶園に施用
- ・ 平成20年には、全構成員がエコファーマー認定を受け、県の特別栽培農産物に係る表示ガイドラインに沿った栽培を行う
- ・ 有機栽培茶の引き合いが強く、供給が追いつかない状況であり有機JAS認証面積の拡大を目指しているが、有機農業に取り組むにあたっては、周辺農業者から農薬飛散防止等への協力を得ることが必要

環境保全型農業の実施状況

【環境直接支払の対象活動】

- ・ 栽培する全茶園(46ha)において有機農業に取り組む
- ・ 摘採時期や耐病性等が異なる16種類の品種を栽培することで、病害虫の発生や凍霜害による収穫量の減少リスクを低減している

【環境直接支払の推進活動】

- ・ 有機栽培の方法や栽培計画等についての研修会を実施して生産技術の向上に努めている



理解促進のための
農薬飛散防止看板
の設置

【その他の活動】

- ・ 農薬飛散防止の看板を作成し、設置するなどして周辺農家に対して理解促進の活動を実施

取組の効果及び今後の展開



消費者向けの商品

- ・ 有機JAS認証や特別栽培等による高付加価値化により年間を通して高値で販売(対慣行栽培比110%(H27))
- ・ 自家製発酵肥料による土作りを行った結果、慣行栽培を上回る収量を維持(対慣行栽培比150%(H27))
- ・ 「病害虫に負けない茶園づくり」を行っていくために研修会を継続し、今後は周辺農業者にも参加を促すなどの取り組みを進めることにより、有機栽培への理解を促進しながら地域内の有機JAS認証ほ場の拡大を目指す